

第2回

**さいたま市子ども読書活動
推進会議説明資料**

令和7年10月9日（木）

現行計画について

- 【計画期間】 令和3年4月から令和8年3月
- 【計画目標】 創造力や感性の豊かな子どもをはぐくむために
『読書が好き』な子どもを増やします
- 【数値目標】 読書が好きな割合
令和7年度までに、小学生85.0%、中学生76.0%、
高校生85.0%
- 【基本方針】 楽しむ読書、みんなで読書、支える読書
- 【計画の対象】 おおむね18歳以下の子ども及び子ども読書活動に関わりを
持つ市民や団体

第四次計画の目標に対する成果と課題

1 目標数値の達成状況

※さいたま市学習状況調査及び高校生の読書アンケート調査

読書が好きな割合 読書は好き、どちらかと言えば好きと回答した割合

	小学生	中学生	高校生
目標値	85%	76%	85%
実績（R6）	79.4%	65.7%	78.1%
実績（R3-R6平均）	80.5%	70.2%	77.6%

（参考）計画期間の不読率の推移

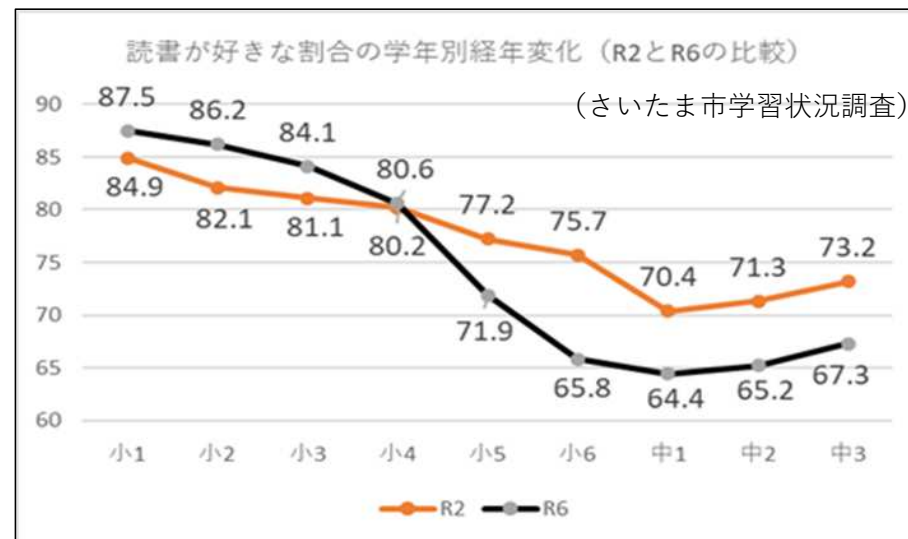
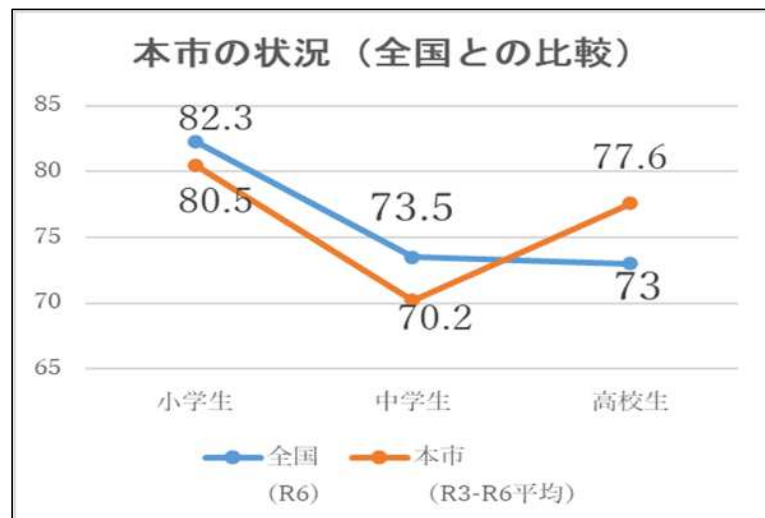
	各計画期間の不読率平均					全国
	計画前 (2005年)	第一次計画 (2006年～2010年)	第二次計画 (2011年～2015年)	第三次計画 (2016年～2020年)	第四次計画 (2021年～2025年) ※数値は2021年～ 2024年の平均	2021年～2024年の 不読率平均値
小学生	7.9%	3.3%	3.3%	4.3%	5.6%	6.9%
中学生	25.2%	9.0%	4.5%	11.4%	12.8%	16.3%
高校生	56.4%	46.1%	48.3%	35.4%	35.8%	48.2%

第四次計画の目標に対する成果と課題

2 本市の子どもの読書状況

読書が好きな割合 読書は好き、どちらかと言えば好きと回答した割合
(2024第69回学校読書調査報告)

	小学生	中学生	高校生
全国(R6)	82.3%	73.5%	73.0%
本市 (R3-R6平均)	80.5%	70.2%	77.6%



- 全国の調査結果と比べ、小学生、中学生で読書が好きな割合が低い傾向にある。
- 令和2年度と比べ、小学4年生までは読書が好きな割合が上昇しているが、5・6年生、中学生では減少している。
- 第四次計画期間の不読率については全国と比べ小学生、中学生、高校生ともにより状況にある。

中核となる取組の成果（第四次）

1 「さいたま市子ども読書の日」の創設

- ・「さいたま市子ども読書の日」の制定（令和3年4月23日施行）
- ・啓発ポスターを作成し関連施設にて掲示を行った（R4～R7）
- ・所管課が連携し、普及キャンペーンを実施（R4～R7）

啓発ポスターの配布（令和6年度実績）

配布施設数	438施設
PDFデータ提供施設数	833施設

2 冬の読書キャンペーンの拡充

- ・所管課が連携しキャンペーンを実施、取組事例を図書館ホームページで公開した
- ・「さいたま市子ども読書活動優秀実践表彰」（令和4年5月31日施行）により、令和4年度から表彰を実施した

	R3	R4	R5	R6
キャンペーン取組実績	94施設	67施設	81施設	67施設
表彰施設数（応募数）	—	8施設（68施設）	8施設（44施設）	9施設（60施設）

3 子どもの読書活動推進のためのSDGs

- ・各学校、図書館で関連資料の収集を行った
- ・図書館ホームページにて「絵本で考えるSDGs」「高校生のためのSDGsブックリスト」を公開した
- ・各図書館でブックリストの作成・関連資料の展示を行った

家庭における取組成果（第四次）

1 ブックスタート事業の推移

	R3	R4	R5	R6
引き換え率	61.3%	64.3%	99.1%	99.4%

2 公民館との連携による親子向けイベントの開催

※親の学習事業等、公民館と図書館が連携し実施したイベントから集計

	R3	R4	R5	R6
開催数	22回	48回	34回	21回
参加人数（延べ）	201人	459人	465人	480人

3 「家読」の推進

- ・家読応援コンテンツを作成し、子育て世代向け図書館案内やおすすめ本を紹介する「みんなのおすすめBOOK」を公開した
- ・「すくすく読み聞かせダイアリー」や「としょ丸読書手帳（幼児向け、小学1.2年向き、小学3～6年向き）」を配布した

4 子どもと本をたのしむためのコンテンツの作成・PR

	R3	R4	R5	R6
年間実績	51	29	26	26
コンテンツ数（累計）	132	161	187	213



図書館HP 「家読」ページ



「としょ丸チャンネル」

保育所や幼稚園における取組成果（第四次）

1 保育所における取組

	R3	R4	R5	R6
一日保育士体験における読み聞かせ体験	940回	1279回	2549回	3129回
地域ボランティアによる読み聞かせの実施	17園	19園	24園	27園
図書館員による読み聞かせの実施	39園	38園	52園	52園

※公立保育園/59園

2 図書館「ブックリストパック」の提供・PR

- ・保育施設へアンケートを実施し、希望する園に図書館発行のブックリストのセットを配布した。【アンケート対象施設（公立・私立認可保育所）：312施設 ブックリストパック配布数：109施設 ブックリストパックの満足度：97.3%】
- ・その他小規模保育施設、幼稚園へブックリストを紹介する案内文をメールで送付しPRを行った。【送付施設数：671施設】

3 保育所及び幼稚園と図書館の連携による取組

	R3	R4	R5	R6
図書館職員によるおはなし会の実施	77回	132回	149回	118回
おはなし会参加人数	3536人	4124人	5949人	6097人

地域における取組成果（第四次）

1 公民館での取組

	R3	R4	R5	R6
「親の学習事業」における読み聞かせ講座実施館	6館	6館	6館	3館
公民館文庫活動実施館	7館	10館	10館	9館
地域ボランティアによる読み聞かせ実施館	14館	20館	24館	15館
図書館員による読み聞かせ実施館	5館	8館	12館	10館

※公民館数/59館

2 児童センターでの取組

- ・すべてのセンターで職員やボランティアによる読み聞かせを実施
- ・推薦図書の展示や貸出
- ・子どもボランティアによる本の整理
- ・利用者や職員にアンケートを取りおすすり図書コーナーを設置するなど、楽しんで本に触れる機会を作った

※児童センター数/18館

3 うらわ美術館での取組

	R3	R4	R5	R6
「本の出張授業」開催数（参加延べ人数）	29回（885人）	83回（2536人）	101回（3174人）	116回（3888人）
美術館での読み聞かせ参加人数	72人	74人	154人	—

学校における取組成果（第四次）

1 ビブリオバトル等読書イベントの充実

※公立中学校/58校 中等教育学校/1校

	R3	R4	R5	R6
ビブリオバトル実施校（累計）	30校	40校	44校	50校
ビブリオバトル実施割合	50.8%	67.8%	74.6%	84.7%

2 学校図書館等利用状況

	R3	R4	R5	R6
全校一斉読書の実施率	小 97.1% 中 96.6%	小 96.2% 中 100%	小 96.2% 中 98.2%	小 92.0% 中 94.1%
貸出総数	3,116,003冊	3,137,046冊	3,189,682冊	3,293,446冊
市立図書館借受数	30,295冊	23,871冊	22,929冊	21,479冊
学級文庫貸出点数	6,530点	40点	3,577点	4,267点

●学級文庫貸出は令和4年度から学校図書館支援センター経由で実施（令和4年度試行、令和5年度から本実施）

3 SDGsなど現代課題に関連する蔵書の充実

- ・各学校において蔵書を整備し、展示等を工夫し授業での活用を促進した（小学校）
- ・授業との関連を意識した資料の収集、探究学習での活用（高校）
- ・パスファインダーの作成（高校）
- ・図書館との連携で「高校生のためのSDGsブックリスト」を作成し、配付した（高校）

※小学校/104校
中学校/58校
高校/3校
中等教育学校/1校

図書館における取組成果（第四次）

1 図書館における取組

		R3	R4	R5	R6
あかちゃんおはなし会（実施回数・参加人数）		266回（1,986人）	354回（3,446人）	427回（5,901人）	438回（6,951人）
児童向けイベント（実施回数・参加人数）		740回（6,770人）	872回（11,395人）	834（13,684人）	845回（14,856人）
保育所・幼稚園への訪問・招待	実施回数	77回	132回	149回	118回
	団体貸出利用	49園	34園	47園	51園
学校訪問・学校招待（実施回数・参加人数）	訪問	28（1,004人）	24回（1,018人）	11回（510人）	14回（630人）
	招待	160回（5,126人）	233回（6,057人）	235回（6,344人）	275回（6,987人）
職場体験学習の受入れ（実施回数・参加人数）		11回（37人）	62回（212人）	65回（191人）	65回（208人）
さいたま・ライブラリー・サポーターズ（延べ参加人数）		150人	157人	150人	141人

2 小学校中学年を対象とする取組の強化

- ・図書館員体験・アニメーション等のイベントの実施
- ・中学年を対象とした訪問事業（ブックトーク・調べ方の授業等）
- ・小学生向けコンテンツの作成
- ・読み聞かせボランティアがおすすめする本の紹介ページ（R7公開予定）

	R3	R6
読書が好きと答えた割合（3・4年生平均）	82.0%	82.4%
読書が好きと答えた割合（1～4年生平均）	83.6%	84.6%

図書館における取組成果（第四次）

3 ビブリオバトルイベントの拡充

- ・中央図書館、東浦和図書館で開催（中央図書館では、R7に規模を拡大。地域書店と連携しPR）
- ・「図書館と県民のつどい埼玉2025 中学生のビブリオバトル」への参加協力
- ・「学校向け実践ハンドブック」「すぐできるキット」を作成し、中学校へ配布した
- ・学校図書館司書教諭向けに研修会を実施するなど学校へのサポートを行った

ビブリオバトル実施校

実施割合（R3-R6年度中） 84.7%



4 SNSを活用した中高校生向け読書案内の発信（市立高校と連携した取組）

- ・新入生に向けた電子書籍サービス利用案内の配付
- ・市立高校生によるPOPバトルの開催（R4からWEB投票開始）
- ・中高生と図書館員のPOP交換（コンテンツを作成、毎年発信した）
- ・「高校生のためのSDGsブックリスト」の公開
- ・「はぴ」のクラッシュイでの定期配信（R5～配信開始）

その他の取組

- ・「としょ丸どくしよてちょう」を新1年生へ全員配付
- ・「としょ丸読書手帳」（小学校3年生～6年生向け）、「としょ丸どくしよてちょう」（幼児向け）の配付
- ・多言語おはなし会の開催、点訳絵本の作成、外国児童書の展示
- ・電子書籍の児童書の充実
- ・さいたま市ゆかり作家の資料の収集と展示

電子書籍サービス貸出者数統計 (令和4年・令和6年の比較)			
	R4	R6	増減率
小学4年生	319人	341人	106.9%
中学3年生	70人	138人	197.1%
高校1年生	149人	242人	162.4%
高校3年生	111人	168人	151.4%

電子書籍サービス貸出者数比較		
	R4	R6
小学生計	1,869人	1,295人
中学生計	840人	634人
高校生計	454人	486人
全世代計	31,480人	33,209人



国・県の施策の動向

国の動向

第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（R5.3月）

基本方針

I 不読率の低減

III デジタル社会に対応した読書環境の整備

II 多様な子どもたちの読書機会の確保

IV 子どもの視点に立った読書活動の推進

県の動向

埼玉県子供読書活動推進計画（第五次）（R6.7月）

「埼玉県 5 か年計画～日本一暮らしやすい埼玉へ～」（R4～R8）

第4期埼玉県教育振興基本計画（R6～R10）

基本方針と取組視点

・目指す姿 すべての子供たちに本との出会いを

・基本方針 不読率の低減

・取組の視点 I 多様な子供たちの読書機会の確保

III 子供の視点に立った読書活動の推進

II デジタル社会に対応した読書環境の整備

IV 地域と連携した読書活動の拡大

子どもの読書活動を取り巻く現状

子どもの読書行動の実態 ベネッセ教育総合研究所 2023年

- ・1日当たりの読書時間は平均15.2分、全体の49.0%は読書はしないと回答。
- ・蔵書が多い家庭、自分で能力を高める勉強をしている保護者、本を読む大切さを伝えている保護者の子どもほど、読書時間が長い傾向。

第69回学校読書調査 全国学校図書館協議会 2024年

- ・5月1か月間の平均読書冊数は、小学生13.8冊、中学生4.1冊、高校生1.7冊
- ・不読者の割合は小学生8.5%、中学生23.4%、高校生48.3%

さいたま市学習状況調査 2024年

- ・さいたま市の児童・生徒のスマートフォンの保有割合は、小3～6年では76.0%、中学生は97.5%、うち1時間以上使用する児童・生徒の割合は、小3～6年では42.5%で令和2年と比べ1.7倍に増加、中学生は73.6%で1.4倍となっている。

外国人人口 国勢調査

- ・さいたま市の外国人人口は、増加傾向にある。
- ・0～14歳の人口は、平成27年には1,378人だったが、令和2年には2,709人と約2倍に増加している。

文部科学省の調査より

- ・通常の学級に在籍する児童・生徒の内、「読む」又は「書く」に著しい困難を示す、特別な教育的支援を必要とする児童・生徒の割合は、平成24年は、2.4%であったのが、令和4年には、3.5%と増加している。

さいたま市子ども読書活動推進計画（第五次）の目標

計画の目標（継続）

創造力や感性の豊かな子をはぐくむため「読書が好き」な子どもを増やします

読書が好きな子どもの割合

	R3	R4	R5	R6		計画最終年 R 12/2030 (目標数値)
小学生	80.9%	80.7%	80.8%	79.4%	5年後の目標数値	85.0%
中学生	72.3%	71.9%	70.9%	65.6%		76.0%
高校生	79.9%	74.2%	78.0%	78.1%		85.0%

基本方針（案）

現計画

- 1.楽しむ読書
- 2.みんなで読書
- 3.支える読書

次期計画

- 1.読書活動の普及
- 2.多様な子どもたちの読書機会の確保
- 3.デジタル社会に対応した読書環境の整備
- 4.子どもの視点に立った読書活動の推進

さいたま市子どもの読書活動推進計画（第五次）計画の骨子案

次期計画の取組

1. 読書活動の普及

- ・「さいたま市子ども読書の日」の普及（継続）
- ・優秀実践表彰と取組事例の奨励（継続）
- ・地域と連携した読書アウトリーチサービス（重点）



放課後児童クラブ、病院、福祉施設等への啓発活動や読書支援を行う。

2. 多様な子どもたちの読書機会の確保

- ・読書バリアフリーコンソーシアムとしての取組（重点）



バリアフリー資料や機器の展示会を開催し、図書館を中心として、支援を必要とする施設、団体、個人等とつながる環境を整える。

りんごの棚の設置や、やさしい日本語での案内、多言語資料の収集等

3. デジタル社会に対応した読書環境の整備

- ・電子書籍貸出サービスの充実（重点）
- ・デジタルツールの使い方、情報リテラシー等体験学習の充実（重点）



一人一台端末から電子書籍サービスへのアクセスを簡易化し、学校、保護者、児童生徒へのPRを強化する。

4. 子どもの視点に立った読書活動の推進

- ・子どもが本と出会う場所の充実（重点）
- ・交流機会を通じた子どもの意見聴取、取組への反映（重点）
- ・やさしい日本語による読書活動推進計画の作成（重点）



児童生徒を対象とする座談会の実施、子どもの意見を選書に反映する仕組みを整える。

推進会議委員からの意見

読書活動の普及について

- ・子どもと本をつなぐ大人の理解、研修の機会が必要
- ・図書館以外の場所で本とつながる機会の充実
- ・病院、小児科の子ども文庫、保健室のミニ文庫などと繋がる工夫
- ・必要な情報が必要な所へ届く工夫
- ・尊敬する大人がおすすめする本を紹介する仕組

多様な子どもたちの読書機会の確保について

- ・本の好き嫌い、読むことそのものが難しい子、読み聞かせが効果的な子、大人向けの本を読みたがる子など様々な状況に応じた読書活動の環境を整える必要性

デジタル社会に対応した読書環境の整備

- ・中学生の朝読用に電子書籍を活用する
- ・思春期の成長に関する図書などの電子書籍充実

子どもの視点に立った読書活動の推進

- ・学校施設の中心に図書館を配置
- ・学校の中で子どもがアクセスしやすい場所に本を置く
- ・子どもの思いを反映させた選書